

令和3年度
「全国家庭教育支援研究協議会」・
「全国公民館研究フォーラム」合同大会

地域資源との 連携による 家庭教育支援の充実

近年、共働き家庭の増加や地域のつながりの希薄化など、家庭を取り巻く環境が多様化する中、子育てについての不安や孤立を感じる家庭が増加するなど家庭教育を行う上での課題が指摘されており、地域全体で家庭教育を支える仕組みづくりが一層重要となっています。

本大会では、家庭教育支援チームなどの家庭教育支援を推進する多様な主体が、子育て支援などの福祉関係機関との連携体制の構築や、公民館などの社会教育施設、学校、地域人材、さらには民間団体等と連携をすることで、保護者が地域において孤立せずに安心して家庭教育を行うための、切れ目のない支援方法を協議します。

参加費
無料

申込方法
裏面参照

▼日時
令和4年

2月4日(金)

13:00~16:20

オンライン開催

オンラインでのアクセス方法は申込み後、改めて御連絡します。

▼参加対象者

行政関係者（教育、福祉）、民間団体、
地域における関係者（家庭教育支援や子育て支援、
公民館活動）等

▼定員

約200名 ※申込み多数の場合、抽選とさせていただきます。

主催 文部科学省 後援 厚生労働省

お問い合わせ 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課

TEL 03-5253-4111 (内線：2974、4972)

主なプログラム

パネルディスカッション

■各地で構築されている家庭教育支援と関係機関との連携体制や取組をお聞きし、効果的な支援の方策や連携・協働の促進について考えます。

コーディネーター



東京学芸大学 理事・副学長
松田 恵示 氏

コメンテーター



社会教育士応援大使
村井 美樹 氏
(俳優・タレント)

ワークショップ

■パネルディスカッションを踏まえ、参加者がグループに分かれて、地域資源を活用した家庭教育支援について気づきを共有し、これからの活動や連携について考えます。
また、交流により参加者がつながる場としています。



地域資源との連携による家庭教育支援の充実

(QRコード)

申込み方法

文部科学省ホームページにある、参加申込みフォームからお申込みください。
【URL】 https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/katei/1422711_00006.htm



申込み期限

令和3年12月24日(金)まで

- お申込みいただいた情報は、本大会以外の用途には使用されません。
- 申込み多数の場合、抽選とさせていただきます。

プログラム (予定)

13:00	開会
	■パネルディスカッション (75分) (地方公共団体の取組事例を踏まえ、協議します)
	テーマ: 地域全体で進める家庭教育支援
	<コーディネーター> 松田 恵示 氏 (国立大学法人東京学芸大学 理事・副学長)
13:15 }	<コメンテーター> 村井 美樹 氏 (社会教育士応援大使、俳優・タレント)
14:30	<パネリスト (事例発表者)> 今別町 (青森県) : 公民館における家庭教育支援の取組
	西会津町 (福島県) : 学校との連携による家庭教育支援の取組
	泉大津市 (大阪府) : 福祉との連携による家庭教育支援の取組
14:45 }	■ワークショップ (85分) (参加者が以下の関心事項ごとにグループに分かれて協議します)
16:10	【関心事項】 ①公民館と家庭教育支援との連携 ②学校と家庭教育支援との連携 ③保健・福祉と家庭教育支援との連携 (民間団体を含む)
16:20	閉会



文部科学省は、身近な地域において保護者への支援を行う家庭教育支援チームの設置やその活動を促進しています。



文部科学省は、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会と連携して「早寝早起き朝ごはん」国民運動を推進しています。